

# 令和5年度 第16回 スプリングチャレンジカップ競技運営について

岐阜県高体連バレーボール専門部

## 【試合運営について】

### ○大会参加申込時の選手登録について

- ・チームは大会参加申込時に最大18名の選手を登録することができる。
- ・申込時に登録したエントリーメンバーはその大会を通じて有効で、変更することはできない。  
**※エントリー変更がある場合は試合当日の朝、受付時に再提出可能。**

### ○試合当日の構成メンバーとユニフォームについて

- ・試合当日は申込時に登録した18名の選手から12名以内のノーマルプレーヤーと、2名以内のリベロプレーヤーを構成メンバーとして試合ごとに申告し、試合を行うことができる。ただし、構成メンバーが12名を超える場合、リベロプレーヤーは必ず2名でなければならない。
- ・ユニフォームは14番までの連番が望ましい。同一選手が別の番号を着用することは避ける。
- ・構成メンバー表は大会当日に配布し、試合ごとに選手14名以内をエントリーして提出する。エントリーは試合ごとに行い、選手14名については試合ごとに変更できる。  
**※会場に到着したチームは本部で受付をすませ、速やかに構成メンバー表を提出する。**

### ○監督・コーチ等について

- ・監督は当該校の学校長が認めた者であれば、監督を務めることができる。
- ・コーチは当該校の学校長が認めた者であれば、コーチとしてベンチ入りすることができる。ただし生徒は認められない。
- ・マネージャーは当該校の職員か生徒（生徒の場合は必ず運動用服装を着装する）
- ・当該校の職員以外の者が監督コーチとなる場合は、年度ごとに専門部に所定の用紙で登録し、原則その年度内は変更することはできない。登録できるのは、監督またはコーチのどちらか一方に限る。
- ・ベンチスタッフのうち必ず1名以上は、引率責任を負える者を置く必要がある。（公立学校では非常勤講師、事務職員は引率責任者にならない）
- ・ベンチスタッフを教職員（マネージャーは生徒を含む）で構成する場合については、「同じ学園内の異なる高等学校」「同じ高校内の全日制・定時制」間を兼務している場合は、学校長が同一であれば当該校の職員と認める。

### ○ネットの高さについて

- ・男子2m40cm、女子2m20cmとする。

### ○大会使用球について

- ・男子モルテン(V5M5000)、女子ミカサ(V300W)のカラーボール（人工皮革）を使用する。

### ○プロトコールについて

- ・トスは記録席で行い、主審の合図で公式練習（各3分または合同6分）を開始する。
- ・公式練習終了後、審判の指示で14名がエンドライン上に並び、挨拶の後ベンチに戻る。（握手なし）
- ・スターティングプレーヤーはコート内に入りラインアップを確認後、試合を開始する。
- ・公式練習についてはすべての試合で行う。
- ・各試合の前に20分間の合同練習タイムをとる。（前の試合が終わったら自動的に次の試合の合同練習タイムに入る）
- ・試合が連続する場合も20分間の合同練習を行い、その後試合開始とする。  
ただし、第3試合終了後のみ40分後にプロトコールとする。 ※昼食休憩の時間確保のため

## ○日程について

- ・ 9 : 0 0                    開場 ※入場できるのは第1試合チーム、補助役員のみ
- ・ 9 : 0 0 ~ 9 : 2 0        第1試合のチーム練習
- ・ 9 : 2 0 ~                    プロトコール
- ・ 9 : 3 1                    第1試合開始
- ・ 第1試合以降は原則、前試合終了後、20分後に次試合プロトコールとする。  
ただし、第3試合終了後のみ40分後にプロトコールとする。 ※昼食休憩の時間確保のため  
また、試合の結果によって進行が遅くなる場合は、会場競技委員を中心に検討し対応する。

## 【審判について】

### ○競技規則について

- ・ 本大会は、2023年度(公財)日本バレーボール協会制定6人制競技規則及び競技要項で行う。
- ・ 選手交代は、ナンバー・パドルおよびブザーを使用しない。
- ・ 本大会は、ワンボールシステムで行う。
- ・ 監督はベンチから離れて指示をすることができる。

### ○ワイピングについて

- ・ 試合中は、コート内の選手が自分で用意したタオルで速やかに拭く。状況により、審判員の指示でラリー終了後、交代選手(3名以内)が速やかにコートに入ってからワイピングを認める。
- ・ タイムアウト時及びセット間のワイピングは、各チームで行う。

### ○服装について

(競技に出場する選手)

- ・ ユニフォームのチーム表示は、学校名またはその略字とする。特に校章・代表地区名を加えることができる。個人名の表示は禁止する。番号の高さは胸番号15cm以上、背番号20cm以上とする。
- ・ リベロプレーヤーは、チームの他の競技者とははっきりと区別できる対照的な色のユニフォーム(少なくともゲームシャツだけは)を着用しなければならない。(左右対称や上下対称ということではなく、はっきりと区別できるデザインであること)リベロが2名の場合、リベロはチームの他の競技者と異なる色で、さらにはお互いに異なる色のユニフォームを着用することができる。
- ・ ソックスはユニフォームの一部であるため、統一すること。(ベリーショートは禁止)
- ・ アンダーシャツ・パワーパンツについては、ユニフォームからはみださないこと。
- ・ 競技中、相手チームに悪い影響を与えるような形状・色彩は避けること。
- ・ 競技に関し、危険・支障があると思われる装飾品等の着用は避けること。
- ・ ユニフォームはシャツの裾をパンツの中に入れてプレーをすること。

(ベンチスタッフ)

- ・ ベンチスタッフは、統一されたウェアとする。ただし統一されていない場合には、いずれかがジャケットを着用する。生徒がマネージャーの場合は、運動のできる服装であればよい。
- ・ 所定のマーク〔監督(監)、コーチ(C)、マネージャー(M)章〕は、明確に判別できる位置につけること。(左胸部が望ましい)
- ・ 規定に則さないと大会役員が判断した場合、チームまたは選手に注意を促すこととし、監督、コーチについてはベンチ入りが認められない。

### ○トレーナーについて

- ・ 当該チームの試合中に限り、チームトレーナーがフロア面(コントロールエリア外)に降りることができるが、コントロールエリア内、ウォームアップゾーンにいる選手に施術することはできない。また、チームへの戦術通達や応援もすることができない。
- ・ 大会ごとにチームトレーナーを参加申込時に申請書にて申請する。また、申請には、チームの学校長の承認を必要とする。
- ・ チームトレーナーはビブスを着用すること。ビブスは各チームで準備すること。

#### ○公式練習について

- ・相手チームは当該チームの迷惑にならないようにする。自チームベンチ前、または相手側コート後方で行う
- ・公式練習時は、ベンチスタッフ及び14名の選手の者しか競技場内にいることができない。

#### ○コートアシスタントについて

- ・第1試合の記録、線審、得点は試合の組み合わせ表で指定されたチームが行う。第2試合以降は前試合の敗者チームで行う。

#### 【開始式・閉会式について】

- ・開始式・閉会式は行わない。

#### 【その他】

#### ○会場使用上の注意について

- ・貴重品は各チームで保管すること。
- ・上下足の区別については厳守すること。
- ・競技に関係のある場所以外への出入りを禁止する。
- ・清掃はチームで徹底し、応援席など会場内のゴミはすべて持ち帰ること。
- ・部旗、横断幕等の位置、場所については、競技に支障をきたさないように配慮し、競技中のチームを優先して掲げるものとする。
- ・競技関係者以外の応援は、2階のギャラリーを利用し、本部席、競技場1階フロアへは立ち入らないこと。
- ・駐車場は各会場校に迷惑のかからないよう極力乗り合わせで行く。  
このことは各チームで保護者等関係者へ必ず連絡し徹底のこと。

#### 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・マスクを持参する（競技を行っていない際には常にマスクを着用すること）顧問・役員（審判、補助員は）・保護者・学校職員は常に着用する。
- ・体育館内に入場できるのは、
  - ① 当該チームの部員、
  - ② 部顧問及びチームスタッフ（監督、コーチ、マネージャー等）、
  - ③ ①②を除くチーム関係者（保護者等）30名とする。
- ・各会場は駐車場が限られているため、乗り合わせにご協力ください。
- ・選手（ユニホーム着用）は、合同練習、公式練習、試合時にはマスクを外すことを認める。また、コート上の選手がマスクを着用していても出場可とする。
- ・主審副審は、感染対策をした上での吹笛をする。電子ホイッスルの使用可とする。
- ・チームは消毒液を持参すること。体育館入場時、試合終了後、タイムアウトやセット間に、積極的に手指消毒をする。
- ・大会を通して、観客席は十分な間隔を確保すること。観戦する際は、発声を禁止する。手拍子やメガホンの使用は認める。
- ・ウォームアップエリアでの発声を認める。
- ・健康状態を記載した名簿（様式1-1、1-2）は、会場に入場する全ての者について記載する。
- ・昼食や補食は選手同士十分な間隔（2m以上）空けて摂る。  
更衣室や待機室でもマスクを着用し、近距離での会話は避ける。
- ・体育館入場時、試合終了後は消毒液で手指消毒を行う。
- ・更衣室、待機室とは別に体調不良者用の待機場所を設置する。
- ・大会終了後には施設を大会役員・顧問で消毒する。（共有物・共有スペース）